

留学先国名 : アメリカ合衆国

留学先学校名 : ショーライン コミュニティ カレッジ

留学期間 : 平成 27 年 4 月 4 日 ~ 平成 28 年 2 月 4 日

まず、留学中の生活についてですが、私はアメリカのシアトルに 10 ヶ月間ホームステイしていました。私のホストファミリーはホストマザー 1 人だけで途中まで香港からの留学生がハウスメイトとして住んでいました。そのため、私はホストマザーと 2 人きりで過ごす時間が多く、そのおかげで会話を持つ機会が多かったと思います。私の留学の 1 番の目的はスピーキングスキルを伸ばすことだったので、ホストマザーと過ごす時間を大切にしました。朝ご飯と夜ご飯はなるべくホストと食べるようにし、その日 1 日の予定や出来事を話すようにしました。その会話の中で私が文法を間違えて使っていればホストマザーが訂正してくれ、難しい発音はゆっくり発音して教えてくれたので、それがスピーキング練習につながったと思います。夕食後は毎日 2~4 時間テレビや映画を見たり、ホストマザーの好きなボードゲームをする時間でした。私もホストマザーも映画を見ることが好きだったため、ほとんど毎日一緒に映画を見ていました。

10 ヶ月の間に数えきれないほどの映画を見ましたが、休日など用事がない日は 1 日に 3~4 本映画を見ていたほどです。図書館にホストマザーと一緒に DVD を借りに行ったり、見た映画について感想を話し合ったり、ただ一緒に映画を見るだけではなく、映画を通して他の点でもより交流が深まったと思います。後半にはホストマザーも私が好きな映画のジャンルが分かり、「あなたが好きそうな映画だと思って用意したの。」とテレビで録画しておいてくれたりしていました。

こういったホストマザーと過ごした時間のおかげで、私のリスニング力は大いに伸び、TOEIC のリスニングセクションでは 2 回連続で満点の 495 点を取ることが出来、リーディングセクションと合わせた全体スコアも留学前から約 200 点伸び、920 点を取ることが出来ました。初めの頃は、字幕がないと理解出来なかった映画も留学後半になると字幕がなくても言っていることが分かるようになり、TOEIC のリスニングのスピードがゆっくりに聞こえるようになりました。ホストマザーとほとんど毎日こうして映画を見たことは、本当に私のリスニング力向上に役立ったと思います。ホストマザーとの時間を大切にする一方で私が苦労したのは、時間の使い方です。ホストファミリーとなるべく多くの時間を過ごしたいとは思っていましたが、学校の宿題やテスト勉強もしなければならなかったですし、現地の友達と過ごす時間も大切にしたいと考えていました。そのためどれか一つに集中し過ぎないように上手く時間を活用し、バランスを保つように努めました。例えば宿題はホストと映画やテレビを見終えてホストが寝る時間から始めたり、友達とどこかへ出かけてもなるべく夕食の時間までに帰ってくるようにしていました。ホストが寝た後に宿題や勉強を始めるのは、自分自身眠い日もありましたが、留学前からホストファミリーとの時間を大切にすることを目標に掲げていたので、毎日続けることが出来たと思います。そうして毎日ホストマザーと過ごすことによって、たまに宿題が多く出された日や大きなテストの前日など私が今日は勉強したいなあと思う日には「今日は勉強する日なのね。頑張るね。」とホストマザーも応援してくれました。今、思い返すと勉強、ホストファミリー、友人の 3 つをバラ

ンスよく両立し、留学前に立てた目標通り、上手な時間の使い方が出来たと思います。

また、インターンシップやボランティアにも積極的に参加しました。私は留学中 3 ヶ月間現地のホテルでインターンシップをしていたのですが、その際お客様と触れ合う機会が多くあり、日本から来たことを伝えるととても興味を持って聞いてくださる方がたくさんいらっしゃいました。私は将来観光業界で働きたいと考えています。そのため、こうしてホテルで働く機会をいただき、色々な地域からお越しのお客様とお話し出来たことは、将来の仕事においてとても役に立つと思っています。ホテルでは私はベルとコンシェルジュをさせていたのですが、お客様にホテル周辺の道案内をしたり、お客様のスーツケースを運んだりする中でお客様とたくさん会話出来ましたし、海外のホテルの接客を身近で感じる事が出来ました。ホテルのスタッフ同士でも仕事のことはもちろん、休日の過ごし方や勉強のことを教えていただき、フレンドリーに接してくれたことがとても嬉しかったです。

また、私は留学中毎週日曜日教会に通っていました。日本にいる時はキリスト教について全く知りませんでしたが、現地で知り合った方々の影響で教会へ通い始め、月に 1 回行われるクリスチャンの集いにも参加させていただきました。私は以前から接客業において様々な人の考えを理解することは大切だと考えていたので、こうしてクリスチャンの方々の考え方や文化を学ばせていただいたのは、私にとって大きな経験となりました。

この 10 ヶ月間で私は「何事にも恐れずチャレンジする精神」と「色々なことに興味を持つ大切さ」を知りました。留学当初は自分の英語に自信がなく、人に話しかけることさえ躊躇していた私ですが、たくさんの人と出会い、その方達から英語を褒めていただいたり、会話の楽しさを教えていただき、自分に自信がつき、どんどん自分から話しかけられるようになりました。また、様々な経験を通し、色々な国の文化に興味を持つようになり、視野が広がりました、私が変わったのは現地で出会った方々のおかげだと思っています。これから留学へ行く人も是非、多くの人と積極的に関わりを持ち、相手の文化や考え方を理解しようという姿勢を見せて行ってほしいと思います。